

3

教員の高度技術・技能習得

先生が建設業の”いま”を学ぶ



高度技術・技能習得は、教員の指導力を向上させるため、教員が熟練技術・技能者から直接指導を受けてスキルを習得するプログラムです。実習は企業や現場で行われるため、教員に不足しがちな現場体験を補うとともに、最新技術や新工法なども習得することができます。

栃木県

技能士実技試験内容の習得など、参加目的は多様

民間企業や建設業団体における技術指導は、教員の先端技術・技能の指導の幅を広げ、また学校と企業との関係も深めることに役立ちました。

■宇都宮工業高等学校

- [対象・回数] 土木科、建築科、インテリア設備科、電気科教員 6 名／6 回（各 2 日間）
- [内 容] 足場組立、測量・設計、木造実習、材料実習、内装、電気工事（第 1 種電気工事士）の 6 実習を実施。木造実習は、2 級建築大工技能検定の課題を基に、製図から組立まで一連の技能の実習を実施。



土木科教員の測量実習（宇都宮工業高等学校）

■今市工業高等学校

- [対象・回数] 建設工学科教員 3 名／3 回（各 2 日間）
- [内 容] コンクリート配合設計、確認申請手続き業務、電気工事（第 1 種電気工事士）の 3 実習を実施。電気科教員は、電気工事コンテスト栃木大会の課題を基に、電気工事実技指導に関する技術を習得。



建設工学科教員のコンクリートの配合設計とコンクリート試験技術実習（今市工業高等学校）

■真岡工業高等学校

- [対象・回数] 土木科、建築科、電気科教員 5 名／5 回（各 2 日間）
- [内 容] 足場組立、測量・設計、建築施工管理、建築大工、電気工事（第 1 種電気工事士）の 5 実習を実施。建築科教員は、2 級建築大工技能士実技試験の課題を基に、墨付方法や木取り等の棟梁が持つ匠の技の習得に挑戦。



2 級建築大工技能士実技試験内容の技能を習得（真岡工業高等学校）